

令和2年度 指定管理者運営評価シート

所管課	スポーツ推進課
-----	---------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市立今津体育館、西宮市立鳴尾体育館、西宮市立甲武体育館
所在地	西宮市今津真砂町1番4号 他
施設概要	体育館には、体育室・会議室・軽スポーツ室などが設置され、クォーターテニス・バスケットボールなどの球技から武道まで幅広く利用されている。
施設の設置目的	あらゆる世代の市民が快適かつ安心してスポーツに親しめる場を提供し、スポーツ及びレクリエーションの推進を図り、市民の心身の健全な発達を促進するため。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	西宮スポーツコミュニティ共同体	指定期間	開始日	平成 30 年 4 月 1 日
	所在地	東京都江東区新砂3丁目1番18号		終了日	令和 5 年 3 月 31 日
選定方法	公募			評価対象年	指定期間 5 年のうち 2 年目

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>施設の老朽化により施設・設備に劣化箇所が随所に見受けられる状況にある。市所管課と協議しつつ、指定管理者の施設管理担当者が主担当として、施設内外をくまなく巡回し、建物から電気工作物・機械・消防・空調などの諸設備、さらに備品に至るまで、施設設備全般にわたり点検を実施し、排煙窓修繕、給湯器修繕、天井扉修繕、照明器具修繕、空調機修繕、冷水器修繕など事故等の危険度の高い箇所や利用頻度の高い箇所、満足度向上につながる箇所を優先して補修等を実施した。</p> <p>維持管理・補修等に当たっては、仕様書に基づき、また関係法令に規定された管理基準を遵守して、施設や設備、備品が安全な状態を保てるよう日常点検を行っている。さらに、業務日誌を活用し、施設の状態、点検、清掃箇所等を職員間で情報共有を行い、施設設備が良好に維持できるような体制をとっている。</p>					
②施設の事業・運営関係	<p>「西宮市運動施設条例」等に基づいて、利用者にとって公平で安全に使用できるよう効率的な運営を行っている。また、大会開催にあたり、事前に利用団体との打ち合わせを実施し、事故発生防止及びスムーズな運営が図られるよう、施設開設時間の延長をしている。施設の予約については、施設予約システム（スポーツネットにしのみや）によって、施設の使用許可に伴う事務、使用料の徴収及び統計作成業務等を行った。</p> <p>また、「スポーツを通じて人と地域を元気に」を基本理念としてストレッチ教室、バスケットボール教室、バレーボール教室、クォーターテニス教室、親子教室など様々なスポーツ教室・イベントを企画・運営し、東京2020オリンピック・パラリンピック公認プログラムをパートナー企業として実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は教室等自主事業は中止した。</p> <p>体育室の全日稼働率は、今津体育館は90%（H30年度：89%）、鳴尾体育館は81%（H30年度：83%）、甲武体育館は94%（H30年度：93%）となり、前年と比較し増加している。</p> <p>労働実態調査の結果：労働基準法をはじめとする関連法令を遵守しており、また労働条件等に関して適切なものであった。</p> <p>調査結果後の指示事項：なし</p>					
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案：</p> <p>①誰もが安全・快適に利用できる施設（修繕計画作成、熱中症対策、感染症予防対策） ②地域交流につながるサービスの実施（情報コーナー設置、季節行事、交流会、出張講座） ③利用者サービスの充実（意見箱、研修、スポーツ用品貸出）</p> <p>取組結果：</p> <p>①スポーツ教室・イベントを企画・運営し、スポーツ教室等参加人数は、延べ11,582人（H30年度：12,579人）となった。 ②破損、老朽化による修繕を行うとともに、中長期修繕計画作成に向けて現状を把握した。実施時期は、今後検討する。 ③熱中症対策として氷のサービス、ポスター掲示、利用者への声かけを実施した。 ④地域のコミュニティ施設として季節を感じる窓口の装飾、他団体との交流会等に取り組んだ。 ⑤情報コーナーの設置、ホームページでの情報提供、チラシの作成を行った。 ⑥職員の資質の維持、向上を図るため社内研修、講習会等を実施した。 ⑦意見箱を設置し、施設運営向上に取り組むとともに、利用者の声に対する回答を掲示した。 ⑧各施設での課題やサービスについて指定管理者間で情報交換会を実施した。 ⑨新型コロナウイルス感染症予防対策を実施し、感染予防に努めた。</p> <p>今後の改善点：</p> <p>多くの方に施設・教室を知っていただくよう広報及び指導員の技術向上に取り組み、あらゆる世代が参加できる自主事業の充実を図り、施設の利用促進を行うこと。 各施設の現状把握を行い、運営・維持両面での整備計画を作成の上、利用者の満足度が上がるよう施設の維持管理に努め、利用者が安心・快適に利用できる環境を整備すること。</p>					
施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H28年度(実績)	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(計画)
① 今津体育館	件	7,695	7,781	7,724	7,033	8,000
② 鳴尾体育館	件	6,368	6,182	5,902	5,236	6,000
③ 甲武体育館	件	7,259	7,183	7,125	6,709	7,300
合計	件	21,322	21,146	20,751	18,978	21,300
(※上記は、年間利用件数)						
④ 一般開放年間利用人数	人	28,299	28,083	28,011	23,859	29,000

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	実施日：令和元年10月 手法：施設利用者に対して配布 回収数：718名
②利用者アンケート等の結果	施設・設備のコンディション、清掃状況、職員の対応、利用方法について満足度を調査し、すべての項目で4～7割弱の方より「満足」、「やや満足」の評価であった。総合評価については、6割弱の回答者より「満足」、「やや満足」の評価であった。スポーツ教室の数については、「今のままでよい」との回答が7割と多数を占めている。 設備関係では、体育室への冷房機器の新規設置や施設の老朽化に伴うトイレ、シャワー室等諸設備の改善、備品の修繕などの要望があった。 また、スリッパの設置、開館時間、混雑する駐車場等について意見・要望があった。
③結果からの改善点など	満足度については、上位の評価が増加するよう、引き続きサービス向上に努めること。夏の暑さ対策、施設・設備の老朽化に伴うさまざまな問題点については、市と相談しながら進めていき、こまめな点検・修繕を行うこと。また、丁寧な清掃をこころがけ、清潔で安全・快適な施設の維持に努めること。 職員の対応については、職員研修等を通じて職員の資質向上を図り、利用者に対して丁寧な説明を行うこと。

5. 指定管理者の安定性及び継続性の評価

①評価結果	令和元年度決算報告書より、共同事業体を組織する2社とも流動性（流動比率等）、安全性（自己資本比率等）、収益性（売上高経常利益率等）の観点より経営分析を実施したところ、流動性、安全性の評価は高く、概ね問題なしと評価した。 事業収支は赤字であり、収支バランスが求められる結果となった。
②評価結果を受けての指示事項	固定経費や施設整備に係る管理費のバランスに留意し、自主事業の充実と利用者サービスの向上を図られるよう求めていく。

6. 指定管理料及びその内訳（指定管理者の収入）

（単位：千円）

区分	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(年度協定額)		
指定管理料	91,721	90,383	92,695		
うち修繕料	(8,640)	(8,720)	(8,800)		
補足説明	「指定管理料」の「うち数」は、その金額が明確な場合にのみ記入している。また、「うち数」の合計は、指定管理料と同じではない。 当該指定管理施設の比較的大規模な改修工事や備品（新規・買替）等については、緊急性・必要性などを総合的に判断して市所管課が負担している。また、光熱水費についても、市所管課が負担している。				

7. 使用料等の収納状況（市の収入）

（単位：千円）

区分	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(予算)		
使用料	33,704	31,174	41,707		
光熱水費使用者負担金収入	577	560	277		
自販機電気代	235	235	235		
行政財産目的外使用料	140	153	135		
その他の収入	491	445	491		
合計	35,147	32,567	42,845	0	0
補足説明	「その他の収入」には、自動販売機取扱収入を記入している。千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。				

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価（現地調査は令和元年10月24日に鳴尾体育館で実施）	毎月1回開催している月次連絡会や現地調査を含むモニタリングなどを通じて、事務処理・施設管理が、仕様書等に即しておおむね適正に行われていることを確認した。 各種書類の保管状況・非常時緊急時対応・施設の維持管理業務・料金徴収事務・利用促進業務・自主事業・個人情報の取り扱い・利用者への対応などについては適合またはおおむね適合していると判断した。（現地調査による個別の指摘事項は以下②のとおり。） また、施設設備等の老朽化に伴う軽微な補修については引き続き迅速に対応し、利用者の利便性や安全確保のため、より一層適切な施設管理が行われることが望まれる。 今後も新型コロナウイルス感染症防止策について万全を期した上で運営にあたり、自主事業の充実により、施設の利用促進及びスポーツによる交流の場の創出に期待する。
②指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> 当日の予約状況を確認し、予約確認は確実にを行うこと。 一部備品シールがはがれていたため、備品管理を徹底すること。